

科目名	情報と社会			担当教員	高橋 友和、難波田 隆雄	
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	EI2INA310	
期待される学修成果	社会事情に対応する応用力、情報の分析に関する力					
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし					
実務経験	産学官連携コーディネート、企業に対するデジタル経営・DX支援【難波田隆雄】					
実務経験を生かした授業内容	ITを活用した経営力強化やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を支援する財団における実務経験を生かし、ITにより社会や企業がどのように変革してきたのか、また、今後の展望について講義を行う。					
到達目標及びテーマ	社会における情報の役割を理解し、説明できる。目標は主に、基礎教養・情報収集分析に関する力・コミュニケーション能力・態度の4点を重要テーマとします。					
授業の概要	前半の第1回から第8回（担当：高橋）は、情報と社会のかかわりやその歴史、現代社会の発展に大きく貢献した情報技術の中から代表敵なものをいくつか解説し、データ駆動型社会、AIと社会について概説します。後半の第9回から第15回（担当：難波田）は、企業に対するデジタル経営・DXの推進を支援する財団の職員が講師として、実際の事例から、ITによる社会と企業の変革、これからの社会と企業経営に関して、講義を行います。					

授業計画	
第1回	<第1部> 情報とは何か？【担当：高橋】
第2回	<第1部> 情報通信技術の歴史【担当：高橋】
第3回	<第1部> 誤り訂正（伝言ゲームが失敗するのはなぜか）【担当：高橋】
第4回	<第1部> 情報圧縮（旅行かばんに大量の衣服を詰め込む）【担当：高橋】
第5回	<第1部> 暗号と署名（遠くの人とヒソヒソ話をする）【担当：高橋】
第6回	<第1部> ウェブ検索（干し草から針を探す）【担当：高橋】
第7回	<第1部> データ駆動型社会【担当：高橋】
第8回	<第1部> AIと社会【担当：高橋】
第9回	<第2部> 身近な事例からITによる社会の変化を考える【担当：難波田】
第10回	<第2部> 企業におけるIT化とDX【担当：難波田・ゲスト】 ・講演者：馬淵 敦史 様（トマト工業株式会社 代表取締役社長）
第11回	<第2部> IoT・AIを活用した「ものづくりDX」【担当：難波田・ゲスト】 ・講演者：墨 勇志 様（株式会社 艶金 代表取締役） 森島 秋輝 様（株式会社テクノア 営業本部長）
第12回	<第2部> ITを活用したマーケティング・「販売DX」【担当：難波田・ゲスト】 ・講演者：天野 洋和 様（株式会社 天野企画 代表取締役）
第13回	<第2部> 観光、まちづくり、行政におけるIT活用とDX【担当：難波田・ゲスト】 ・講演者：竹内 晃一 様（株式会社カカワリネット 代表取締役） 中村 匡 様（株式会社ZENSHIN 代表取締役）
第14回	<第2部> 「建設・土木DX」と伴走型DX支援【担当：難波田・ゲスト】 ・講演者：杉山 阿有美 様（三気建設株式会社 人事課・広報課） 永井 信夫 様（ナガイネット 株式会社 代表取締役）
第15回	<第2部> データ駆動、AI、これからの社会・企業・人材【担当：難波田】

事前学修	2時間	各回の授業計画に示されているキーワードについて調査する（第1回～第15回）
事後学修	2時間	各回の授業内容をまとめる（第1回～第15回）
フィードバックの方法	授業内でレポートの解説を行う	

補足事項	授業前半の1回から8回迄の講義は、高橋教授による学術的講義があります。この講義内容が基礎となり、後半講義第9回から15回迄の講義が形成されています。前半の講義の理解度を確保して頂くことが後半の講義の理解度も高まると考えます。【難波田隆雄】
------	---

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料	特になし			

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
レポート	100%	授業内容の理解度を評価する
定期試験	0%	実施しない